

収書方針

- (1) 本学の教育・研究、学習活動の基礎となる図書館資料の収集を図る。
- (2) 学部・学科構成、研究の動向に留意して、広く体系的に収集する。
- (3) 多様な学説・見解のテーマの資料を広く公平に収集する。
- (4) 利用者の要求を基本とし、本学の教育研究に資する学術的資料を中心に収集する。
- (5) 資料の収集は、長期的展望に立って行う。
- (6) 予算を効率的に運用するために、電子等媒体で提供される資料と紙媒体の重複はしない。
- (7) 定期的な蔵書評価を行い、必要な資料の収集に努める。
- (8) 本学の関係資料の収集に努める。
- (9) データベース等電子資料の導入を積極的に行う。
- (10) 資料収集の最終選択権限と責任は、図書館長が有する。
- (11) 原則として、全ての資料の重複所蔵はしない。
- (12) 原則として 10 万円以上の資料の購入については、全学図書館委員会の承認を必要とする。
- (13) 寄贈の受入れは、基本的に学術資料とし本学図書館の特色を考慮して判断し、蔵書の充実と保管に努める。
- (14) 寄贈資料は、整理費・書庫スペース等の問題を考慮して不必要な資料は受け入れない。
- (15) スペースを有効利用の観点から、所蔵すべき資料を定期的に見直し、利用価値が消失したと判断された資料の除籍・廃棄を行う。

図書選書基準

- (1) 本学の学修・教育・研究のための図書・学術書・専門書を重点的、積極的に収集する。
- (2) 入門書、概論書は積極的に収集する。
- (3) 教科書は収集する。
- (4) 学生生活に役立つ教養図書は積極的に収集する。参考書・資格取得・趣味や娯楽の図書は資料とし、選択して収集し、長期保存はしない。
- (5) 小説等・随筆等文学作品は、定評のあるものを選択して収集する。
- (6) 学生のキャリアを構築するための実用図書は選択して収集する。
- (7) 参考図書は、本学の学修・教育・研究に必要な資料を重点的に電子版の資料を積極的に収集する。
- (8) 学生の購入希望図書は、教育的、学術的図書は積極的に収集する。教養的図書は、選択して収集する。学術性が希薄な図書は原則として収集しない。
- (9) 本学教員の著書は網羅できるよう寄贈により収集する

図書以外の選書基準

- (1) 学術雑誌は、本学の学修・教育・研究に必要とするものを重点的、積極的に収集する。
- (2) 手賀沼関連資料は、積極的に収集する。
- (3) 新聞・加除式資料、AV 資料、電子資料は教育的、学術的なものを選択して収集する。
- (4) 学内刊行物は、積極的に収集する。
- (5) 基本的に重要性が高い資料のみ収集する。
- (6) 大学図書館として不適切と図書館長もしくは委員会が判断したものは収集しない。

- (7) シリーズ・全集などは必要なもののみ選択して収集する。
- (8) 電子資料があるものは印刷媒体を収集しない。

以上